

1. 教育目標

- 1 自主性，創造性に富み，何事にも意欲的な人材を育成する。
- 2 規則正しい学校生活を送り，確かな学力を身につける。
- 3 責任とモラルを重んじ，他者を思いやる心豊かな人間を育てる。
- 4 ふるさとに誇りを持ち，積極的に地域社会に貢献する人間を育てる。

【校章】



砂丘地の強風に耐え，たくましく生育する「黒松」の葉をデザインしたもので，発展と躍動をあらわす。

【校木】



タブノキ (クスノキ科)

海岸近くの社叢林に多くみられ，その青々と茂る大木の様から勇壮と遠大をあらわす。

本校正面の中央の植え込みにある3本の木で，創立のときに移植したものである。

高校生の授業

(1) 単位認定制

高校では、中学校と違って「単位認定制」をとっています。例えば、「現代社会」の授業が週2時間あれば、「現代社会」の単位は2単位となります。そして、「現代社会」の成績や授業の出席状況が一定の基準を満たされていると認められたとき、「現代社会」の単位を2単位修得したことになります。これが「単位認定制」です。

修得できなかった科目の単位数の合計が多いと進級・卒業ができませんので、注意してください。

なお、各教科科目の単位数は5章、「高校生の3年間と進路」で説明します。

(2) LH（ロングタイムホームルーム）

ホームごとで行う特別活動の時間です。ホーム独自の行事や進路課などに協力してもらって進路説明会などを行っています。生徒会活動の一端を担う活動として、ホーム役員を選んだり学校祭でのホーム行事の企画案を決めたりします。最近、個人が優先されることが多い中で「集団」や「団体」における個人の役割を考えたり、実践できる時間がこのLHです。普通の教科では味わえない体験ができるかもしれません。

(3) 総合的な探究の時間

「総合的な探究の時間」で次の表にある活動をする計画です。

学年	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
テーマ	Self Discovery (自己発見)	Life Contemplation (人生思索)	Career Decision (進路決定)
ねらい (目標)	自己のパラダイム（枠組み）を認識することによって、新しい自己の発見を目指す。	自己の課題を踏まえた上で、多くの人生パターンを知ることによって、自己の将来について思索する。	将来有為な社会人となるために、確固たる自己を確立する。
内 容	・探究学習入門 ・各種講演会 ・内高生のハローワーク ・職業調べ ・ポスターセッション	・探究学習実践 ・体験講座 ・職業人の履歴書 ・インタビュー取材 ・スライド発表	・模擬面接 ・生涯学習 ・社会人への準備 ・自由制作

学習する科目は、下の表の通りです。

	1年生	2年生			3年生		
時間		一般コース	文系コース	理系コース	一般コース	文系コース	理系コース
1	現代の国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語
2							
3	言語文化	文学国語	文学国語	古典探究	文学国語	文学国語	古典探究
4							
5	公共	地理総合	古典探究	地理総合	地理探究/ 日本史探究/ 世界史探究	古典探究	政治・経済
6							
7	数学Ⅰ	歴史総合	地理総合	歴史総合	政治・経済	地理探究/ 日本史探究/ 世界史探究	数学Ⅲ/数学 研究β
8							
9							
10	数学A	数学Ⅱ	歴史総合	数学Ⅱ	政治・経済	政治・経済	数学C/情報 Ⅰ活用
11							
12	科学と人間生活	生物基礎	数学Ⅱ	数学B	英語コミュニケーションⅢ	数学研究α	物理/生物
13							
14	体育	体育	数学B	物理基礎/生 物基礎	英語コミュニケーションⅢ	生物基礎	物理/生物
15							
16							
17	保健	保健	化学基礎/ 地学基礎	化学基礎	英語コミュニケーションⅢ	体育	化学
18	英語コミュニケーションⅠ						
19	家庭基礎	英語 コミュニケーションⅡ	体育	化学	国語表現/ 簿記	英語コミュニケーションⅢ	体育
20							
21							
22	芸術 (音楽Ⅰ/書道Ⅰ/美 術Ⅰ)	国語表現/簿 記	英語 コミュニケーションⅡ	体育	情報Ⅰ活用/ 保育基礎	英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅢ
23							
24							
25	情報Ⅰ	ビジネス基礎	英語 コミュニケーションⅡ	保健	スポーツⅡ/ 生活と福祉	論理・表現Ⅱ	英語コミュニケーションⅢ
26							
27	内灘ベーシックⅠ	内灘ベーシッ クⅡ	論理・表現Ⅰ	英語 コミュニケーションⅡ	ビジネスコミ ュニケーション/ フードデザ イン	情報Ⅰ活用	論理・表現Ⅰ
28							
29	総合的な探究の時 間	総合的な探究 の時間	総合的な探究 の時間	総合的な探究 の時間	総合的な探究 の時間	総合的な探究 の時間	総合的な探究 の時間
30	ホームルーム	ホームルー ム	ホームルー ム	ホームルー ム	ホームルーム	ホームルーム	ホームルーム

(5) 各教科の学習法

次のページから各教科の学習法や学習内容を説明します。

<国語科>

1. 毎日の学習法

国語は、言語の知識だけでなく、広い社会のものとごとの見方、考え方を学ぶ科目でもあります。私たちは言葉によって情報を伝達し、コミュニケーションを取っています。「話す・聞く」「書く」「読む」「考える」を充実させることが国語学習の基本であり、みなさんの生涯を支える力になります。授業では教材をくり返し読む、ノートをしっかりと書く、課題について深く考えることが重要です。1時間1時間を大切に、どう伝えようか、どう表現しようか、ということに思い切り頭を使ってください。

2. 補助教材の使い方

・漢字ワーク【3年間継続使用】

この問題集は授業内での小テストや試験問題、休業中の課題として用います。

3. 漢字検定について

随時希望者を募っています。CBT方式でオンライン受験が可能です。

漢字は語彙力の基礎です。また、この資格を取ることは、進学・就職の際に有利に働くこともあります。2級取得を目標に頑張りましょう。

<地理・歴史科>・<公民科>

この教科は、ともに暗記が必要な科目だといわれます。確かに地名、人名、年代などを覚えることも大切です。しかし、この教科の勉強で大切なことは、学習を通して社会についてよく知り、「私たちはどのように生きるべきか」ということを考えることです。

毎日の学習法について

授業中は集中して先生の話に耳を傾け、そして自分にわかりやすいようにプリントを書く工夫をしましょう。そして、「なぜ?」「どうして?」と疑問をもちながら授業に積極的に参加しましょう。

家庭においては、普段から新聞や本を読んだりテレビの報道番組、さまざまな動画コンテンツなどを見たりして日本や世界の情勢に関心を持ち、自分なりの意見を持つような工夫をしてみよう。

<地理・歴史科>

【歴史総合・世界史探究】

「人類が出現してから世界の国々で人々がどのような社会を形成し、どのような生き方をしていたか」を学習します。

【歴史総合・日本史探究】

「日本において昔の人々がどのような生き方をしていたか、現在の社会がどのように形成されてきたのか」について学習します。

【地理総合・地理探究】

「日本や世界の各地域で人々はどのような生き方をしているのか」ということを学習します。

<公民科>

【公共】

現代社会の政治や経済、国際社会、環境などについて学び、「今、社会はどうなっているのか」、そして「私たちはどのように生きていけばよいのか」を考え学習します。

【政治・経済】

世界や日本の政治や経済について学習します。【公共】と同様に、新聞やテレビのニュースなどを見て、いろいろな出来事を知るようにしましょう。

<数学科>

高校数学は中学数学の延長ですが、たとえ数学が中学時代に苦手であっても、高校から気持ちを新たに努力して得意科目にした人がたくさんいます。ぜひ、皆さんも決してあきらめずに、次のことを心がけてがんばってください。

1. 授業をしっかり受けよう。

家庭学習も大切ですが、やはり授業をしっかり受けることが一番大切です。むやみに欠席や遅刻をしないで、集中して授業を受けましょう。

2. 先生に質問しよう。

授業や家庭学習でわからなかった問題は、そのままにしないで、休み時間に職員室に走りましょう。「数学の成績が伸びる子はどんな子？」と聞かれたら、ほとんどの先生が「よく、質問にくる子」と答えるでしょう。

3. 宿題は決められた期限に必ず提出しよう。

成績は試験の点数だけで決まるわけではありません。普段の提出物、休業中の宿題の提出、授業態度などが成績を大きく左右します。特に、試験で点数が取れない人はしっかりやらなければなりません。

<理科>

理科は私達が生活する場となっている自然とそこで起こっている自然現象を正しく理解するための教科です。

『物理』は、力・運動・電気・磁気・原子などについて学びます。

『化学』は、物質の構成・物質の種類と性質、物質の変化（化学変化）などについて学びます。

『生物』は、細胞・生物体の構造・生殖と発生・遺伝・環境と生物などについて学びます。

『地学』は、岩石や地層、火山、地震、気象、宇宙などについて学びます。

高校理科で学習する科目は、『科学と人間生活』『物理基礎』『物理』『化学基礎』『化学』『生物基礎』『生物』『地学基礎』の8科目です。

『科学と人間生活』は、上の4つの分野すべてについて、科学の法則や技術が日常生活や社会の中でどのように利用され、結びついているか学ぶ科目です。1年次では全員『科学と人間生活』を学び、2年次以降は、類型に応じて残りの7科目から選択して学びます。

理科では、次のことに注意して学んでください。

(1) 授業をしっかり聞いてください

科学の公式や法則はかなり多く、覚えるだけではなかなか問題は解けません。公式や法則と問題解法の橋渡しをするのが授業です。注意深く聞く姿勢が大切です。

(2) ノートなど記録を取るようにしてください

授業の内容をあとで振り返るためにも、授業の内容をノートに取ることが大切です。授業中に板書されたことはもちろん、説明や注意点も書く習慣をつけてください。

(3) 家庭で復習してください

授業でするだけでなく、ワークやプリントの問題を自分の力でやってみることで、あいまいな点やわからない点が明確になります。わからない点は先生に質問して解決し、理解を深めてください。

＜保健体育科＞

この教科は、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目標としております。

保 健 (1, 2 年次…1 単位)

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を養いましょう。

体 育 (1, 2 年次…3 単位 3 年次…2 単位)

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を養いましょう。

スポーツⅡ (3 年次…2 単位)

スポーツⅡは、球技のそれぞれの型に応じた攻防で個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競い合うといった特性があります。授業の中では体育とは違った運動を取り入れていきます。フライングディスクやフレッシュテニス、キンボールなどのニュースポーツが中心になります。運動が得意な人もそうでない人もこれらの運動を通して、より運動を好きになってもらい、豊かなスポーツライフを継続する資質・能力を養いましょう。

＜芸術科＞

芸術科は「感情」や「感覚」をより洗練し、情緒豊かな調和のとれた人間形成を目指すものです。本校では「芸術」として「音楽」、「美術」、「書道」の3科目を開講し、それぞれ専門の先生と特別教室を備え、個性の開発を目指しながら芸術教育に取り組んでいます。

【音楽】は

創造的で個性豊かな表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めていく科目です。授業では「表現（歌唱・器楽・創作）」と「鑑賞」の活動を通して、日本の伝統的な曲や世界の民謡・民族音楽、また歌謡曲やポップスなど世界各国のさまざまなジャンルの作品に取り組みます。知識や技術の習得だけでなく積極的な自己表現に心がけましょう。

【美術】は

単に「上手な絵が描ける・上手に物を作れる」という科目ではありません。作品制作という過程で美的なことを発見し、創造することを楽しみ、人間の豊かな感性や感受性を育てていく科目です。より美しいものを求め、作品制作を通じて自己表現し、自分自身を見つめ直し新しい自分を発掘してください。

【書道】は

文字を正しく美しく書くことだけではなく、書を通して人として成長することを目指としています。繰り返し練習することで集中力をつけ、見る目も養います。様々な魅力ある作品に触れることで視野を広げ、感性を育てます。今までよりも「出来る」自分を発見し、自信をつけてみませんか？

<外国語（英語）科>

高校での英語学習は中学校と比べると、科目数や時間数が多く、内容も難しくなります。予習・復習を中心にしっかりと家庭学習を習慣化させ、1時間1時間の授業を大切にしましょう。授業を受ける際に次の点に注意しましょう。

(1)授業前

授業が始まる前に教科書、ファイルを必ず用意します。

(2)授業中

先生の話をしっかり聞いて、黒板に書かれたものはすべてプリントに写します。また、黒板に書かれていなくても、自分で重要だと思ったことはプリントなどに書き留めるように習慣づけましょう。外国人の先生との授業では、積極的に会話に参加しましょう。英語の成績は【読む・聞く・書く・話す(対話)・話す(発表)】の5技能を総合的に評価しますので、読む・書くが苦手でも、授業中に話す取り組みを頑張れば力も伸び、成績もよくなるはずです。自分の英語力を否定せず授業に参加して楽しんで下さい。

(3)授業後

授業中に疑問に思った点やわからなかった点は早いうちに先生に質問し、解決します。また、授業中に配布されたプリントなどの資料は、なくさないように整理して保管しましょう。

(4)英語が得意になる秘訣

教科書を声に出して何回も読んでみましょう。まず目と耳から英語に慣れることが大切です。外国人の先生とも積極的に話すことで、楽しく英語を身につけることができます。予習・復習の仕方や効果的な家庭学習の方法などを先生にアドバイスしてもらって実践することも上達につながります。

<家庭科>

この科目は、生涯にわたって、「自立」し「共に生きる力」を身につけるとともに、自分や家庭、地域の「よりよい生活」を主体的に創造することを考える教科です。

☆家庭科の学習法

- ①授業が始まる前に、ファイル・教科書・資料集を準備します。
- ②授業をしっかり聴いて、授業内容をワークシートに記入してください。ワークシートは、ファイルに保管してください。自分の意見や考えを書いたり、発表することあります。グループで話し合い、話し合ったことを発表することもあります。
- ③実験・実習については、ルールを守り、積極的に参加し、まわりと協力して行ってください。

☆担当者からのメッセージ

家庭科の内容は学ぶことと共に、「考える」ことが大切です。家庭科の授業をきっかけに、現在のあなたを取りまいてる生活を見つめ直し、よりよく自分らしく生きることを考えて、見つけてください。

<情報科>

◎コンピュータを活用しながら、「情報」に関する理解を深め、その処理や活用能力を高める教科です。また、情報に関するモラルやルールを学びます。本校では、他の教科だけでなく、様々な場面でコンピュータを使うことがあります。そのため、情報科の授業は基本教科に位置付けられています。

◎授業はC A I 教室で、コンピュータを使用した実習中心になります。
教室からの移動です。早めに行動し、授業を始めるための準備をしましょう。
授業では、文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを使い、基礎的な操作の習得を通して、高度情報化社会に対応できる能力を身に付けます。

担当者からのメッセージ

授業に取り組む姿勢や態度も重視します。課題等にしっかりと取り組み、それらをきちんと期限までに提出するようにしましょう。

各種検定試験への取り組みも行っています。

学年	1年	3年
科目	情報 I	情報 I 活用
対象	全員	文系 一般選択・理系選択

<商業科>

◎高校で初めて学ぶ専門科目です。変化の激しい現代社会の中で、多くの企業が様々なビジネス（経営活動）をしています。このビジネスの世界についての学習をします。

ビジネスに関する基礎的な知識や技術、マナー、計算力等を学習し、将来、ビジネス社会の一員としての基礎的な力を身に付けます。

担当者からのメッセージ

- ①授業は移動教室が多いので、チャイム前に教科書ファイル等をもって移動して下さい。
- ②授業では、先生の話をよく聴き、しっかりノートを取ってください。
- ③評価については、授業に取り組む姿勢や態度だけでなく、服装等も重視し、評価します。
礼儀やマナーも守りましょう。
- ④課題等にしっかりと取り組み、きちんと期限までに提出してください。
- ⑤各種検定試験への取り組みも行っています。（主に、電卓、簿記検定）
- ⑥「簿記」の授業では電卓を使用します。必ず各自で用意してください。

学年	2年		3年	
科目	ビジネス基礎	簿記	ビジネス コミュニケーション	簿記
対象	一般	一般選択	一般選択	

<内灘ベーシック>

この科目は「学校設定科目」の一つで、内灘高校でなければ学べないものです。高校に入ってから学習に必要な基礎的な事柄（国語・数学・英語・理科・社会）について、中学校での学習内容にさかのぼって勉強します。



* * * * *

◎プリントやクロームブックを使って練習問題をします。[知識技能]

（練習内容は、別途プリントで案内します。）

◎解いたものをもとに、生徒間で教え合いをします。[主体的に取り組む態度]

◎教科ごとに振り返りをし、シートに学んだことを書き残します。[思考・判断・表現]

◎成績は、[知識技能]/[主体的に取り組む態度]/[思考・判断・表現]のそれぞれを A/B/C の3段階評価と100点満点の評点で評価します。

◎評価は、毎時間のプリントの提出状況・学習態度・出席状況などを考慮し、総合的に行います。

* * * * *

この科目の学習目標の一つは、国語・数学・英語・理科・社会についての基礎・基本をしっかり身に付けることですが、実はもう一つ大きな目標があります。

それは、

「計画的・継続的に学習に取り組む態度を身に付け、

しっかりとした学習習慣を確立する」

ことです。

簡単に言えば、「勉強の仕方」と「勉強の習慣」を身に付けようということです。

中学校と違って、毎年「進級」が必要な高校で3年間勉強を続けることは、

皆さんが想像している以上に大変なことです。何事も「最初が肝心」と言います。

しっかりと取り組み、学力の基礎を身に付けましょう。



令和7年度 各種検定試験 日程表

主催	検定名	検定日	申込期間	説明会	受験級および部門・受験料
日本英語	実用英語技能検定	1次 令和7年6月1(日) 2次 令和7年7月13(日)	3月24日(月) ～ 5月7日(水)	4月14日(月) (放課後)	2級 9,100円 準2級プラス 8,700円 準2級 8,500円 3級 6,900円 (参考: 上記は2024年度の検定料です)
全商	ビジネス計算実務検定試験	令和7年 6月15(日)	4月7日(月) ～ 4月15日(火)	4月10日(木) (4限後) (商業演習室)	1級～3級 普通計算部門 ビジネス計算部門 各1,300円
全商	簿記実務検定	令和7年 6月 22日(日)	4月8日(火) ～ 4月16日(水)	4月10日(木) (4限後) (商業演習室)	会計・原価計算・2級・3級 各1,600円
全商	ビジネス文書実務検定	令和7年 6月 29日(日)	4月11日(金) ～ 4月24日(木)	4月25日(金) (昼食時)	ビジネス文書部門 1級 1,500円 2級 1,400円 3級 1,200円 速度部門 各級 1,100円
全商	情報処理検定	令和7年 9月 28日(日)	6月24日(火) ～ 7月7日(月)	4月10日(木) (4限後) (商業演習室)	1級 1,800円 2級 1,500円 (1・2級は各部門) 3級 1,300円
日本英語	実用英語技能検定	1次 令和7年10月5(日) (9/26(金)) 2次 令和7年11月16(日) (11/9(日)) (○は本校で実施可能な場合)	7月1日(火) ～ 9月8日(月)	6月30日(月) (放課後)	2級 9,100円 (6,900円) 準2級プラス 8,700円 (6,400円) 準2級 8,500円 (6,100円) 3級 6,900円 (5,000円) (参考: 上記は2024年度の検定料です) (○は本校で実施予定の場合の受験料)
全商	ビジネス計算実務検定試験	令和7年 11月 9日(日)	8月26日(火) ～ 9月8日(月)		1級～3級 普通計算部門 ビジネス計算部門 各1,300円
全商	ビジネス文書実務検定	令和7年 11月 23日(日)	9月12日(金) ～ 9月29日(月)		ビジネス文書部門 1級 1,500円 2級 1,400円 3級 1,200円 速度部門 各級 1,100円
日本英語	実用英語技能検定	1次 令和8年1月25(日) 2次 令和8年3月8(日)	10月31日(金) ～ 12月15日(月)	11月5日(水) (放課後)	2級 9,100円 準2級プラス 8,700円 準2級 8,500円 3級 6,900円 (参考: 上記は2024年度の検定料です)
全商	情報処理検定	令和8年 1月 18日(日)	10月21日(火) ～ 11月4日(火)		1級各部門 2,100円 2級各部門 1,800円 (1・2級は各部門) 3級 1,600円
全商	簿記実務検定	1・2級・3級(CBT形式) 令和8年 1月 25日(日)	10月28日(火) ～ 11月11日(火)		会計・原価計算・2級 各1,300円 3級(CBT形式) 1,600円
全商	商業経済検定	令和8年 2月 1日(日)	11月5日(水) ～ 11月18日(火)		1科目 1,600円

※検定試験について

各検定において、**基本的には自分で勉強します**。各担当の先生に相談したり、アドバイスをもらってください。

各検定において、**申込者数が10名に満たない場合は、本校では受験できません**。(他校での受験となります。)